

2024 年度東京 YMCA 社会体育・保育専門学校
自己評価表

1. 学校の教育目標

本校の教育目標は社会体育専門課程と保育専門課程において以下のように乳幼児から高齢者の人々を対象とし、社会において役立って働く青年を育成する。

- ①健全な発育・発達が促進されるため
- ②健康な生活習慣が創り出されるため
- ③人と人との出会いや豊かな人間関係が育まれるため

2. 本年度に定めていた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1. 現場主義を教育理念の 1 つとし職業実践教育を継続して行う。
(YMCA・他団体での通常実習制度の充実)
- 2. 1 学生が 2 資格以上資格取得することができるようにする。
- 3. 就職率 90%以上を維持する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①課題

教職員間で学校の教育方法や方針を共有し、共通理解を十分にすることが望まれる。
社会では何が求められているかを柔軟に捉えられる指導者・保育者育成をする必要がある。

②今後の改善方策

YMCA 内外問わず、様々な事業や他団体とも連携を進めていきたい。
保護者会等を実施し、学生及び保護者等に学校や法人の理念や目的を発信できるようにする。

③特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効的に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

〔 必要な情報を精査し、教育活動に関する情報公開の充実を図りたい。 〕

②今後の改善方策

〔 地域、自治会、小中学校などと連携を図り、地域に根差した学校づくりを目指したい。
業務を見直し、自動化を進め、業務の効率化を図る。 〕

③特記事項

〔 〕

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成の目標達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

新カリキュラムの導入に向けて、教員のスキルアップを図り、柔軟に対応できるようにする。

② 今後の改善方策

様々な媒体を通して情報を収集したり、有識者から意見を聞いたりして新カリキュラムの充実に努める。
また、教員を積極的に研修等に派遣する。

③ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

退学者の減少に努めたい。

② 今後の改善方策

保護者とも連携を図り、教員の介入によって学生の負担が軽減し、前向きに取り組める環境になるよう働きかけ、学業継続に向けて学生に寄り添い指導していく。

③ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	④	3	2	1

①課題

〔 クラス担任、ゼミナール担当者、クラブ活動の顧問等、一人の学生に対し複数の教員による
学生指導、学生支援体制を整えている。 〕

②今後の改善方策

〔 教職員以外の第三者に相談ができる環境を整備する必要がある。 〕

③特記事項

〔 〕

(6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

〔 学内の Wi-Fi 環境の整備。 〕

② 今後の改善方策

〔 2025 年度中に整備に着手する。学生のニーズに応じられるよう整える。 〕

③特記事項

〔 〕

(7) 学生の受入募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

18 歳人口の減少の影響を受け、学生確保に苦戦している。

②今後の改善方策

入学相談室スタッフだけでなく、全教職員の個性や強みを生かして高校生に本校や法人の魅力を伝える。

③特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

①課題

運営法人の公益財団法人東京 YMCA の情報しか公開していない。
学生数減少のため収入が減少している。

②今後の改善方策

法人全体の情報だけではなく、本校の財務情報も公開する。
学校の認知度を高め、受験生に選んでもらえる学校となるよう努める。

③特記事項

(9)法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実態と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

〔 第三者評価委員会開催の実現に至っていない。 〕

②今後の改善方策

〔 本校の教職員だけでなく、地域、保護者、卒業生、企業、関係機関などからなる評価を蓄積し、開かれた学校としての情報公開を目指す。 〕

③特記事項

〔 〕